

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和 6 年度大分川・大野川浸水想定区域図検討業務
業 務 概 要	対象外力の設定 浸水解析モデルの更新 浸水解析 家屋倒壊等氾濫想定区域の更新検討 既往浸水想定区域との比較検討 洪水浸水想定区域図の更新 浸水想定図及び水害リスクマップ（外水）の更新
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 大分河川国道事務所長 谷川 征嗣 大分県大分市西大道 1 丁目 1 番 7 1 号
契 約 年 月 日	令和 6 年 8 月 1 9 日
契 約 業 者 名	（株）建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	大分県大分市金池町 2－1－3
契 約 金 額	2 4，9 9 2，0 0 0 円（税込み）
予 定 価 格	2 4，9 9 2，0 0 0 円（税込み）
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	大分川・大野川流域
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間（自）	令和 6 年 8 月 2 0 日
履 行 期 間（至）	令和 7 年 2 月 2 6 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度大分川・大野川浸水想定区域図検討業務
2. 履行場所 大分川・大野川流域
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル
会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
電 話：092-714-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、水防法第14条及び同施工規則第1条、第2条により令和5年12月22日付け変更大野川水系河川整備基本方針による基本高水の見直し及び現状の河道整備状況、沿川の土地利用状況等を踏まえた洪水浸水想定区域図の見直し及び大分川水系七瀬川直轄管理区間において、最新のR5河道測量断面を用いた浸水想定区域図の見直しを行うものである。

2) 業務の内容

計画準備、資料収集整理、対象外力の設定、浸水解析モデルの更新、浸水解析、家屋倒壊等氾濫想定区域の更新検討、既往浸水想定区域との比較検討、洪水浸水想定区域図の更新、多段階浸水想定図及び水害リスクマップ（外水）の更新、電子データの作成、報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を29者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に「配置予定技術者の成績及び表彰」は最も優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「その他」における「重要事項の指摘に関する有益な代替案」が記載されていること、及び特定テーマの「大野川及び七瀬川の河道特性及び氾濫域の特性を踏まえた留意すべき事項について」に対する技術提案について、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 流域治水課長